

創造物を使ってお子さんにエホバについて教えましょう

「**誰がこれらの物を創造したのか**」。[イザヤ 40:26](#)

[11 番の歌](#) エホバを賛美せずにはいられない

何を学ぶか*多くの兄弟姉妹は、子供の頃に家族と一緒に自然の中で楽しく過ごした思い出があることでしょう。そうした時に親からエホバがどんな方かについて教えてもらったことを、今でも覚えているはずです。あなたは子育てをしていますか。もしそうなら、創造物を使ってエホバの性質についてどのように教えることができるのでしょうか。

1. 親はどんなことを願っていますか。

親の皆さんは、**お子さんがエホバについて知って愛するようになる**ことを願っているでしょう。でも**エホバは目に見えません**。では、**どうすればお子さんがエホバの存在を信じ、身近に感じられるようにしてあげられるでしょうか**。（[ヤコ 4:8](#) 神に近づいてください。そうすれば、神は近づいてくださいます。罪人たち、手を清めてください。優柔不断な人たち、心を清めてください）

2. 親はどのようにしてエホバの性質について子供に教えられるか。

2 お子さんが**エホバを愛するようになる**には、**一緒に聖書を学ぶことが大切**です。（[テモ二 3:14-17](#) あなたは、自分が学び、納得して信じるようになった事柄から離れないようにしなさい。あなたはそれを誰から学んだかを知っており、15 幼い時から聖なる書物に親しんできました。その書物はあなたを賢くし、キリスト・イエスへの信仰による救いを得られるようにします。16 聖書全体は神の聖なる力(*)の導きによって書かれたもので、教え、戒め、矯正し、正しいことに基づいて指導するのに役立ちます。17 それにより、神に仕える人は十分な能力を持つことができ、あらゆる良い活動を行う用意が完全に整います）でも聖書によると、ほかにも大事なことがあります。「格言の書」には、**父親が子供を教えている様子**が描かれています。**創造物から分かるエホバの性質に注目**するように、と教えているようです。（[格 3:19-21](#) エホバは知恵によって地の土台を据えた。識別力によって天をしっかりと定めた。20 神の知識によって深い水は分けられ、大空の雲は水を滴らせた。21 わが子よ、それら(神が持つ前述の資質を指すと考えられる)を見失ってはならない。役立つ知恵と思考力を守れ) **この記事では、親が創造物を使ってエホバについてどのように教えることができるかを考えます。**

創造物を使ってどのように教えるか

3. 親はどのように子供を教えることができますか。

3 聖書によると、「**神の见えない性質**は、**世界の創造以来明らか**です。**造られた物を見れば.....分かります**」。（←[ロマ 1:20](#)）親の皆さんは、**お子さんと外で楽しい時間を過ごす**ことがあるで

しょう。そうした機会に、「造られた物」とエホバの素晴らしい性質を結び付けて教えることができます。では、この点でイエスにどのように倣えるか考えてみましょう。

4. イエスはどのように創造物を使って弟子たちを教えましたか。（ルカ 12:24, 27-30）

4 イエスは創造物を使って弟子たちをどのように教えたのでしょうか。ある時、ワタリガラスやユリをよく観察するようと言いました。（ルカ 12:24 ワタリガラスのことを考えなさい。種をまいたり刈り取ったりしませんし、納屋も倉も持っていません。それでも神はその鳥を養っています。あなたたちは鳥よりずっと価値があるではありませんか、27-30 ユリがどのように育つかを考えなさい。苦労して働いたり、糸を紡いだりはしません。しかし、華やかな生活を送ったソロモン王でさえ、このような花の1つほどにも装ってはいませんでした。28 神が、今日は生えていて明日火に放り込まれる野の草木にこのように服を与えているなら、ましてあなたたちには服を与えてくださるのです。信仰の少ない人たち。29 それで、何を食べるのか、何を飲むのかとばかり考えるのをやめ、心配して気をもむのをやめなさい。30 これらは全て世の人々が必死に求めているものですが、天の父は、あなたたちがこうしたものを必要としていることを知っています）イエスは、いろいろな動物や植物の中から、弟子たちがよく知っている物を選んで教えました。弟子たちは、ワタリガラスが飛んでいたたり、野原にユリが咲いたりしているのを見たことがあったでしょう。イエスはこの時、ワタリガラスやユリを指さしながら話したかもしれません。こうして創造物に注目させた後、エホバが親切に惜しみなく与える方だということを教えました。エホバはワタリガラスやユリを世話しているのであれば、ご自分に仕える人たちを養い、衣服を与えてくださるはずです。

5. 親はどんな創造物を使ってエホバについて教えることができますか。

5 イエスの教え方にどのように倣えるのでしょうか。親の皆さんは、自分が好きな動物や植物についてお子さんに話すことができるでしょう。そうした物からエホバについてどんなことが分かるかを、ぜひ教えてください。お子さんにどんな動物や植物が好きかを尋ねてみることもできます。お子さんが好きな物とエホバの性質を結び付けて教えるなら、お子さんは興味を持って話を聞いてくれるでしょう。

6. クリストファー兄弟の母親からどんなことを学べますか。

6 動物や植物について話すためには、時間をかけて詳しく調査しなければいけないのでしょうか。そういうわけではありません。イエスはワタリガラスがどんな物を食べるかや、ユリの細胞の構造を詳しく話すことはしませんでした。時には動物や植物についてお子さんと一緒に詳しく調べるのも楽しいかもしれませんが、多くの場合はシンプルな説明や質問で十分です。クリストファー兄弟は、子供の頃のことについてこう言っています。「母は何げない会話の中で、自然界の素晴らしさを考えさせてくれました。山に行った時には、『見て、大きくてきれいな山ね。エホバって本当にすごいわね』と言いました。海に行くと、『波の力ってすごいと思わない？ エホバも力の強い方なのよ』と言いました。母の言葉はシンプルなものでしたが、いろいろと考えるきっかけになりました」。

7. 創造物についてじっくり考えるよう子供を助けるために、どんなことができますか。

7 お子さんが大きくなってきたら、自分で創造物を観察してエホバがどんな方かについて考えるよう助けることができます。具体的な例に注目させて、その創造物からエホバについてどんなことが分かると思うかを尋ねてみてください。驚くような良い答えが返ってくるかもしれません。

(マタ 21:16 イエスに言った。「子供たちが言っていることが聞こえるか」。イエスは言った。「はい。『あなたは、幼い子供たち(d*幼い子供や乳児)の口から賛美を生じさせた』とあるのを読んだことがないのですか」)

創造物を使ってどんな時に教えるか

8. イスラエル人の親たちは、親子で「道を歩くとき」にどんなことができましたか。

8 イスラエル人の親たちは、「道を歩くとき」にエホバの言葉を子供に教えるように命じられていました。(申 11:19 それを自分の子に教えて、家で座るときも、道を歩くときも、寝るときも、起きるときもそれについて話さない) イスラエルの田舎道を子供と一緒に歩く時には、いろいろな動物や鳥や花を見ることができたので、エホバが造った物に子供の注意を向けることができたでしょう。親の皆さんも同じように、いろいろな機会に創造物に注目させてお子さんを教えることができます。では、幾つかの実例を考えてみましょう。

9. プニータ姉妹とカーチャ姉妹からどんなことを学べますか。

9 インドの大都市に住むプニータ姉妹はこう言います。「家族で田舎に住む親族の所に遊びに行く時は、子供にエホバの創造物について教える良いチャンスだと思っています。子供たちは、にぎやかな街にいる時よりも自然の中にいる時の方が、創造物についてじっくり考えやすいようです」。お子さんは、家族みんなで美しい自然の中で過ごした時のことをいつまでも覚えていることでしょう。モルドバのカーチャ姉妹はこう言います。「子供の時に家族みんなで田舎に出掛けた時のことを今でもよく覚えています。幼い頃から両親は、創造物を観察してエホバと結び付けて考えるように教えてくれました。とても感謝しています」。



都市部に住んでいても、創造物を使ってエホバについて教えることができる。(10節を参照。)

10. 自然の豊かな所に出掛けていくのが難しい場合は、どんなことができますか。(「参考のできる資料」の囲みを参照。)

10 自然の豊かな場所に出掛けていくのが難しい場合は、どうしたらよいでしょうか。インドに住むアモル兄弟はこう言います。「私たちの住む地域では、親は長時間働く必要がありますし、田舎に出掛けていくにはすごくお金がかかります。でも、小さな公園や家の屋上でも、創造物を観察してエホバの性質について語り合うことができます」。身近な所でも、鳥や昆虫や花など、エホバの創造物をいろいろと見つけられるでしょう。（詩 104:24 エホバ、あなたの偉業は何と多いのだろう。あなたは知恵によって全てを造った。地球はあなたが造ったもので満ちている）ドイツのカリーナ姉妹はこう言います。「母はお花が大好きです。私が子供の頃、一緒に散歩をしていると、かわいいお花を見つけてはいろいろ教えてくれました」。親の皆さん、組織が準備している創造物に関する動画や出版物もぜひ活用してください。住んでいる場所や状況に関わりなく、エホバが造った物にお子さんの目を向けさせることができます。では次に、創造物からエホバのどんな性質について教えることができるか、考えてみましょう。

参考のできる資料

jw.org に載せられている以下の資料を活用できます。

- 「[だれかが設計？](#)」の記事や動画（自然界の仕組み、人体の治癒力など）
- 「[生命 — どこから？](#)」の冊子（生命の起源について何を信じるかは非常に重要）
- 「[創造の驚異は神の栄光を表わす](#)」の動画（時間を取って自然界をより注意深く観察し神に近づく）
- 「[生命の起源に対する見方](#)」のセクションにある動画（整形外科医、法律学の教授、医師、ロボット工学者などが自分の信仰について語る）

「神の見えない性質は.....明らか」

11. エホバの愛についてどのように子供に教えることができますか。

11 エホバの愛についてお子さんに教えるために、動物が子供を愛情深く育てていることに注目させることができます。（マタ 23:37 …私はめんどりが翼の下にひなを集めるようにあなた方を集めたいと何度思ったことでしょう。…）エホバがいろいろな種類の動物や植物を造ってくれたことも話せるでしょう。先ほどのカリーナ姉妹はこう言います。「母と一緒に散歩をしている時、花をよく観察するようにと教えてくれました。一つとして同じ花はないことや、きれいな花を造ってくれたエホバは愛情深くて優しい方だ、ということを考えさせてもくれました。それから何年もたちますが、今でも色やデザインの違ういろいろな花を見るたびに、エホバが私達を本当に愛してくれているんだと感じます」。



人間の体の素晴らしい造りに注目させて、エホバの知恵について教えることができる。（12節を参照。）

12. エホバの知恵についてどのように子供に教えることができますか。（詩編 139:14）（写真も参照。）

12 エホバの知恵についてもお子さんに教えましょう。エホバは私たちよりもはるかに賢い方です。（ローマ 11:33 ああ、神の祝福は何と豊かで、神の知恵と知識は何と深いのでしょうか。神の裁きを知り抜くことも、神の道を知り尽くすことも決してできません）その点を教えるために、重たい水が雲になってふわふわと空に浮いている様子に注目させることができます。（ヨブ 38:36, 37 誰が雲(if*人)の中に知恵を置いたか。誰が空の現象(if*人の頭)に理解力を与えたか。37 誰が雲を数えることができるほどに賢いか。誰が天の水がめを傾けることができるか）人間の体が素晴らしく造られていることも話してあげられます。（詩編 139:14 私はあなたを賛美します。私は、驚くほどに素晴らしく造られているからです。あなたが行ったことの素晴らしさを、私はよく知っていますを読む。）ウラジーミル兄弟はこう言います。「ある日、息子は自転車に乗っている時に、こけてけがをしてしまいました。でも、何日かするとその傷は治りました。妻と私は息子に、エホバが造ってくれた人間の体には傷を治す力があることを教えました。人間が作った物にはそんな力はありません。例えば、事故を起こした車が自然と元通りきれいな状態になる、ということはありません。息子は、エホバにはすごく知恵があると感じたようです」。

13. エホバの力についてどのように子供に教えることができますか。（イザヤ 40:26）

13 エホバは私たちに、天を見上げて、宇宙を制御しているご自分の大きな力について考えてみるよう勧めています。（イザヤ 40:26 天を見上げてみなさい。誰がこれらの物を創造したのか。星の軍勢を数え上げて率いている者である。その者は全ての星を名で呼ぶ。膨大な活力(*動的エネルギー)と驚異的な力を持っているので、一つとして欠ける星はないを読む。）親の皆さんも、空を見上げて考えてみるようお子さんに勧めることができます。台湾の婷婷姉妹は、子供の時のことについてこう言っています。「母がキャンプに連れていってくれたことがあります。その時、街の明かりのない所でたくさんの星を見ました。当時、私は友達からのいろいろな圧力があって、『自分はずっとエホバに仕えていけるのだろうか』と不安になっていました。でも母は、たくさんの星を造ったエホバはとても力が強い方であることや、その力を使って私のことも助けてくれる、ということを教えてくれました。このキャンプがきっかけで、エホバのことをもっと知りたい、これからもエホバに仕えていきたい、と思うようになりました」。

14. 親は創造物を使ってエホバが幸福な神であることをどのように教えることができますか。

14 創造物から、エホバがユーモアのある明るい方だということが分かります。学者によると、鳥や魚を含め、ほとんどの動物が遊ぶとのことです。（ヨブ 40:20 山々はべへモトが食べる物を産出する。そこでは野生動物が戯れる[参資脚注：これは四つ足の生き物に喜びをもたらした]）お子さんは、子猫が毛糸玉を追いつけたり子犬がじゃれ合ったりするのを見て、面白がることがありますか。そういう時には、エホバが幸福な神だということを教えてあげましょう。（テモー 1:11 その教えは幸福な神の素晴らしい良い知らせと一致しており、私はその良い知らせを託されました）

エホバの創造物を家族で楽しむ



子供たちは自然の中にいると、リラックスして自分の気持ちを話してくれるかもしれない。（15 節を参照。）

15. 親は子供の気持ちをくみ上げるためにどんなことができますか。（格言 20:5）（写真も参照。）

15 子供が悩んでいることをなかなか話してくれない、と感じることもあるかもしれません。そういう時には、お子さんの気持ちを上手にくみ上げる必要があります。（格言 20:5 人の心の考え(*意図)は深い所にある水のように。識別力のある人はそれをくみ上げるを読む。）一緒に自然の中で過ごしている時の方が、子供に気持ちを話してもらいやすいと言う親もいます。親にとっても子供にとっても、気を散らすものが少ないからです。台湾に住む雅彦兄弟はこう言います。「山にハイキングに行ったりビーチを散歩したりして外で過ごしていると、子供たちもリラックスしています。それで、自分の思っていることをよく話してくれます」。先ほどのカーチャ姉妹もこう言います。「学校帰りに、母はきれいな公園によく連れていってくれました。そういう場所だとリラックスできて、学校のこととか悩んでいることとかを話しやすかったです」。

16. 家族は自然の中でリラックスしたり楽しんだりするために、どんなことができますか。

16 エホバが造った美しい自然の中でリラックスしたり、創造物を観察して楽しんだりすると、家族の絆は強まります。聖書には、「笑うのに時がある」、「踊るのに時がある」と書かれています。（伝 3:1 何事にも時がある。この地上の全ての活動には時がある、4 泣くのに時があり、笑うのに時がある。泣き叫ぶのに時があり、踊るのに時がある）エホバは地球を美しい場所に整えてくださいました。山や

海や自然保護区などに出掛けていって楽しんでいる家族もいます。お子さんは、公園で遊んだり動物を観察したり、川や湖や海で泳ぐのが好きかもしれません。エホバが造ってくれた物に囲まれて時間を過ごすのは、本当に楽しいものです。

17. 子供と一緒にエホバの創造物を楽しむとよいのはどうしてですか。

17 将来、新しい世界になれば、エホバが造ってくれた物を家族で存分に楽しめるようになります。動物を怖がる必要はもうありません。動物も人間を怖がることはなくなります。(イザ 11:6-9 オオカミが子羊と共に過ごし、ヒョウが子ヤギと共に寝そべる。子牛とライオンと肥えた動物が皆一緒にいて(if*子牛とライオンと一緒に食べ)、小さな子供に導かれる。7 雌牛と熊と一緒に食べ、子牛と子熊も共に寝そべる。ライオンが雄牛のようにわらを食べる。8 乳児がコブラの巣の上で遊び、乳離れした子が毒蛇の巣穴の上に手を置く。9 私の聖なる山のどこにも、荒らしたり危害を加えたりするものはいない。水が海を覆っているように、エホバについての知識が必ず地上に満ちるからである) 時間は無限にあります。(詩 22:26 温厚な人は食べて満足し、エホバに導きを求める人はその方を賛美する。あなたが永遠に生きられますように) でも、親の皆さん、今からお子さんと一緒に自然の中で楽しむ時間をつくるようにしてください。創造物を使ってエホバについて教えましょう。そうすれば、お子さんは次のように語ったダビデと同じ気持ちになるでしょう。「エホバ、あなたの偉業は何と多いのだろう」。(詩 104:24 エホバ、あなたの偉業は何と多いのだろう。あなたは知恵によって全てを造った。地球はあなたが造ったもので満ちている)

どのように答えますか

1. イエスが創造物を使って教えた方法からどんなことを学べますか。

- ・S04 イエスは、いろいろな動物や植物の中から、弟子たちがよく知っている物を選んで教えました。ワタリガラスやユリに注目させた後、エホバが親切に惜しみなく与える方だということを教えた。
- ・S05 親は自分が好きな動物や植物や子供の好きな物とエホバの性質を結び付けて教える。(子供は興味を持って話を聞いてくれる。)
- ・S06 イエスはワタリガラスがどんな物を食べるかや、ユリの細胞の構造を詳しく話すことはしなかった。時には動物や植物についてお子さんと一緒に詳しく調べるのも楽しいかもしれないが、多くの場合はシンプルな説明や質問で十分。

2. 親はどんな時にエホバの性質について教えることができますか。

- ・S08 イスラエル人の親たちは「道を歩くとき」にエホバの言葉を子供に教えるように命じられたように、親の皆さんも、いろいろな機会に創造物に注目させてお子さんを教えることが可。
- ・S09 自然の豊かな場所に出掛けていけるなら、創造物を観察してエホバと結び付けてじっくり考えるように教えることができる。
- ・S10 都市部に住んでいても、小さな公園や家の屋上など身近な所で、鳥や昆虫や花など、エホバの創造物をいろいろと見つけられる。組織が準備している創造物に関する動画や出版物もぜひ活用して、住んでいる場所や状況に関わりなく、エホバが造った物にお子さんの目を向けさせる。

- ・S11 エホバの愛について教える：動物が子供を愛情深く育てていること。エホバがいろいろな種類の動物や植物を造ってくれたこと
- ・S12 エホバの知恵について教える：重たい水が雲になってふわふわと空に浮いている様子に注目。エホバが造ってくれた人間の体には傷を治す力があるが、人間が作った物にはそんな力はない
- ・S13 エホバの力について教える：天を見上げて、宇宙を制御しているエホバの大きな力について考えてみるよう勧める
- ・S14 エホバがユーモアのセンスがある明るい方で幸福な神だということを教える：学者によると、鳥や魚を含め、ほとんどの動物が遊ぶ。子猫が毛糸玉を追い掛けたり子犬がじゃれ合ったり

3. 家族みんなで自然を楽しむとよいのはどうしてですか。

- ・S15 子供が悩んでいることをなかなか話してくれないと感じる時も、一緒に自然の中で過ごすなら、子供に気持ちを話してもらいやすくなる
- ・S16 エホバが造った美しい自然の中でリラックスしたり、創造物を観察して楽しんだりすると、家族の絆が強まる
- ・S17 今からお子さんと一緒に自然の中で楽しむ時間をつくり、創造物を使ってエホバについて教えるなら、子供たちは「エホバ、あなたの偉業は何と多いのだろう」と語ったダビデと同じ気持ちになる

134 番の歌 子供たちは神からの財産

△ 多くの兄弟姉妹は、子供の頃に家族と一緒に自然の中で楽しく過ごした思い出があることでしょう。そうした時に親からエホバがどんな方かについて教えてもらったことを、今でも覚えているはずです。あなたは子育てをしていますか。もしそうなら、創造物を使ってエホバの性質についてどのように教えることができるでしょうか。

△ (イザ 40:26) 天を見上げてみなさい。誰がこれらの物を創造したのか。星の軍勢を数え上げて率いている者である。その者は全ての星を名で呼ぶ。膨大な活力*と驚異的な力を持っているので、一つとして欠ける星はない。

または、「動的エネルギー」。

△ (ヤコ 4:8) 神に近づいてください。そうすれば、神は近づいてくださいます。罪人たち、手を清めてください。優柔不断な人たち、心を清めてください。